第１号議案

令和３年度事業報告

令和３年度の請負などの受注件数は２，１７５件と前年比９１件増加し、契約金額も１１，５７５万１千円で前年比１，５９５万９千円の増となりました。
内訳は、公共の契約金額が３，１１６万１千円（前年比：６８４万１千円の増）民間事業所の契約金額が６，０２１万８千円（前年比：８９２万８千円の増）一般家庭の契約金額が２，４３７万２千円（前年比：１９万円の増）です。

県シルバー人材センター連合会小千谷市事務所が実施する派遣事業については、受注件数が２件増加し、契約金額は３，９３８万５千円で前年比２８万８千円の増となりました。

会員数については年度末で３７８人であり、前年比１人の減となりました。内訳は、入会者が３９人、退会者が４０人です。

入会理由の主なものは、男性が生きがい社会参加、時間的余裕、健康維持・増進、経済的理由の順に多く、女性が時間的余裕、生きがい社会参加、健康維持・増進、仲間作りの順となっています。退会理由の主なものは、男性が病気（本人）、就職、加齢の順に多く、女性は病気（本人）、家庭の事情の順となっています。

会員の平均年齢は全体が 73.3 歳であり、男性は 73.6 歳（前年度 73.0 歳）、女性は 72.7 歳（年度 72.3 歳）で依然と男性の年齢が高くなってきています。

また、請負と派遣を合わせた会員の就業率（年度内就業者数÷年度末会員数）は、95.0％になっています。

受託業務について

令和３年度の事業運営は、受注件数、契約金額ともに前年度を上回りました。

受注件数については、前年比で一般家庭 101％、公共 105％、民間 112％で、契約金額では一般家庭 101％、公共 128％、民間 117％となっています。新しい生活様式の中でコロナ前の状態に戻したいという社会経済全体の動きもあったことから数字上では何とか回復はしてきています。しかし、コロナの影響が少なかった令和元年の数値と比較すると受注件数で一般家庭102％、公共102％、民間77％、契約金額では一般家庭104％、公共 117％、民間 87％となっており、契約金額比率で常に区分全体の 50％以上を占めている民間の受注が未だコロナ前まで回復しているとは言えない状況です。

そのような中、コロナ禍に係る新規の就業形態であった小中学校校舎の除菌作業や、遠隔地からの施設管理の受注など、依然続いている形態もあるところです。また、除雪関連では２年続きで大雪となり、積雪量も昨年と同等ではありましたが、今年は降雪期間が長く就業日数が多かったことから昨年の実績を上回っています。

仕事の区分では、依然として運搬、軽作業（清掃・除草など）、生産工程の作業（障子襖はり・金属加工など）、サービスの作業（家庭生活支援・管理など）、農林漁業の作

業（剪定・冬囲いなど）の受注が多くを占めていますが、運搬、軽作業を除くとコロナ前の水準は未だクリアしていない状態です。

シルバー事業は景気の動向や自然条件などに影響されやすい中、通常であれば、年度ごとに増減はあるものの市内の企業や一般家庭の皆様、公共機関等から高齢者の就業にご理解をいただき、比較的安定した発注をいただいております。しかし、近年の受注状況を踏まえると、未だコロナ禍の中ではありますが、今後は社会情勢を注視しながら特に民間企業からの受注回復に努めてゆかねばなりません。

会員の拡大について

令和３年度は、１名ではありましたが退会者数が入会者数を上回りました。全国及び新潟県において減少が続く中、当センターも減少しています。事業計画にも挙げているとおり令和元年度の会員数を目標値として会員の拡大に努めるとともに、職種により経験や技能を持つ会員が少なくなっていることや、雇用・定年延長が進むことに伴い新規入会者年齢の高齢化による経験年数不足等を踏まえて、技能者の養成などに取組む必要があります。

安全就業について

令和３年度は、傷害事故１件、賠償事故２件の計３件で、昨年と比較すると傷害事故は１件減、賠償事故は２件減となっています。

傷害事故の状況は冬囲い作業中の受傷、賠償事故は機械除草作業中のアース線切断と作業中の落下物による水道配管の破損となっています。

事故防止策として、会員へ注意の呼びかけや仕事前の安全確認の励行などを行っていますが、体力・技量の過信や経験値による慣れなど、何気ない作業の中にも事故が潜んでいますので、安全就業について意識をより向上させることが大切です。

シルバー派遣事業について

当センターは、県連合小千谷市事務所として平成２２年度から派遣事業に取り組んでおり、国が適正就労を進める中、特に請負・委任契約と派遣契約を適正に行うよう指導が強まっています。また、不足する我が国の労働力を補うため高齢者に着目し、シルバー人材センターに派遣事業の拡大を促しています。そのような中、県連合では派遣事務の効率化を図るため令和３年度に一部事務の集中化を行ったところです。

派遣事業の前年度比較

項　　目	令和３年度	令和２年度	増　　減
登録会員数	１７１	１５６人	１５　人
受注件数	７４	７２件	２　件
就業延人員	８，５４４	８，６０６人	△６２　人
契約金額	３９，３８５	３９，０９７千円	２８８千円

会員の状況、事業実績、会議行事の開催等について

（別添のとおり）